

2023年11月10日

当社による「Jリーグ」スタジアム観戦者数が200万人を突破！
 ～「全員がサポーター」を合言葉に、全従業員が一体となってJリーグを応援～

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 永島 英器）は、2014年に公益社団法人日本プロサッカーリーグ（以下、Jリーグ）のJ3カテゴリーとタイトルパートナー契約を締結し、2023シーズンでパートナー10年目を迎えました。

また、全国の支社等が、地元のJリーグ所属の全クラブ等^(注1)と個別にスポンサー契約を締結しており、当社従業員が地域のみなさまをお誘いしてスタジアムに足を運び、地元のJクラブ等を応援してきました。その結果、2015シーズンから、当社従業員と地域のみなさまによるスタジアムでの試合観戦者数が、2023年10月に累計で200万人を突破しました。

当社は今後も、地域社会の活性化と課題解決へのさらなる貢献に向けて、社会的価値を創出していきます。

(注1) 近隣にJクラブがない場合は、JFL等に所属しているクラブ

■これまでの当社の主な取組みについて

当社は、Jリーグの「地域に根差したスポーツクラブを核として、豊かなスポーツ文化を醸成する」という理念に共感し、2014年からJ1・J2リーグのトップパートナーおよびJ3リーグのタイトルパートナー、2015年からはJ1・J2・J3の全リーグカテゴリーのタイトルパートナーとしてJリーグを応援しています。

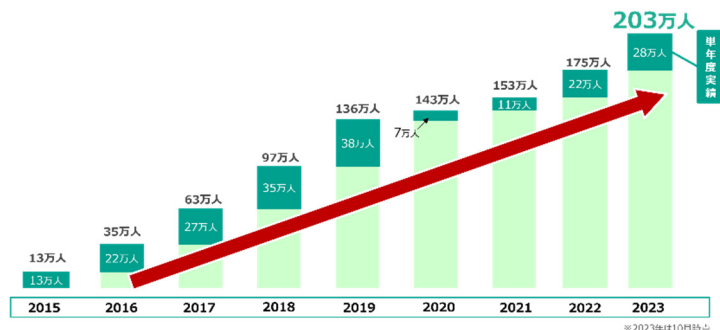
さらに、全国の支社等が地元のJリーグ全60クラブと個別にスポンサー契約を締結し、当社従業員が地域のみなさまと一体となってスタジアムに足を運び、地元のJクラブ等を応援してきました。

その結果、このたび、当社従業員とお誘いした地域のみなさまのスタジアムでの試合観戦者数が累計で200万人を突破しました。

<スタジアム観戦の様子>



<スタジアム観戦者数の推移>



【ご照会先】
 広報部 広報グループ TEL 03-3283-8054

明治安田生命保険相互会社 〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-1-1

ひとに健康を、まちに元気を。

みんなの
健活
 プロジェクト



加えて、こうしたJリーグ・Jクラブとの強固な関係を基盤として、当社の2「大」プロジェクトである「みんなの健活プロジェクト^(注2)」「地元の元気プロジェクト^(注3)」を展開しています。具体的には、「小学生向けサッカー教室」や「明治安田生命Jリーグウォーキング」等の全国規模での展開や、自治体や道の駅、スポンサー企業等とともに、各地域の課題に応じた健康増進イベントや社会貢献活動の実施など、従来の協賛の枠組みを超えた「パートナー」としての協働を強化してまいりました。

2023年からは、「社会的価値の創出」をテーマに、Jリーグが2018年から実施している「シャレン！」を応援し、当社の「地元の元気プロジェクト」と一体となって、各地域課題に応じた社会貢献活動に取り組んでいます。

その一環として、若い世代の献血が減少傾向である社会課題をふまえ、包括パートナーシップ協定を締結している日本赤十字社協力のもと、Jリーグ全クラブ等とともに献血の啓蒙活動を行なう「シャレン！で献血^(注4)」を2023年4月より全国で展開しています。具体的には、当社の従業員による地域のみなさまへの献血ルームのご案内活動や、Jリーグのファン・サポーターやスタジアム来場者に向けた試合当日の献血バスへのご案内活動等を通じて、定期的な献血を促進しています。



(注2)「人生100年時代」を迎え、健康寿命の延伸に対するニーズが高まっているなか、当社が「商品・サービス・アクション」の3つの分野で、「お客さま・地域社会・働く仲間（当社従業員）」の継続的な健康増進を応援する取組み

プロジェクト詳細：<https://www.meijiyasuda.co.jp/brand/kenkatsu/>

(注3)「つながり、ふれあい、ささえあう地域社会を。」をコンセプトに、地域の橋渡し役として「社会的なつながり」を提供し、地域のみなさまと各地域の資源・コミュニティをつなげることで、豊かな地域づくりへの貢献をめざす取組み

プロジェクト詳細：<https://www.meijiyasuda.co.jp/brand/jimotonogenki/>

(注4)「シャレン！で献血」の概要

取組詳細：<https://www.meijiyasuda.co.jp/brand/jleague/sharen/>

以上